CASBEE 大阪 みらい 建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 （v.1.2.1） ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 （v.1.2.

1-1 建物概要

建物名称	（仮称）天王寺区大道2丁目計画		
建設地	天王寺区大道2丁目、勝山2丁目		
建築用途	共同住宅		
建築主	リバー産業（株）		
設計者	（株）日企設計		
敷地面積	2,713.30	㎡	
建築面積	1,193.55	㎡	
延床面積	19,593.65	㎡	
構造/階数	RC造	/	地上20階
完了年（予定）	2025年3月		

1-2 外観

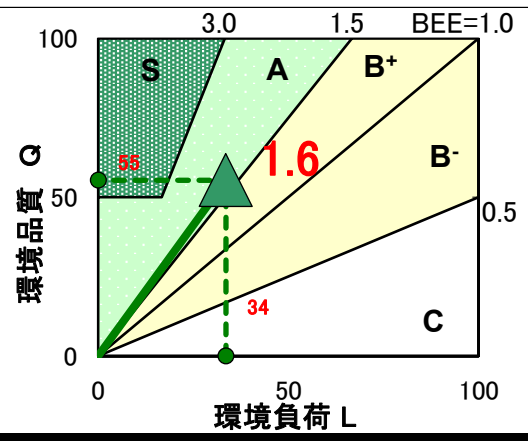


2-1 建築物の環境効率（BEEランク&チャート）

A

BEE =1.6

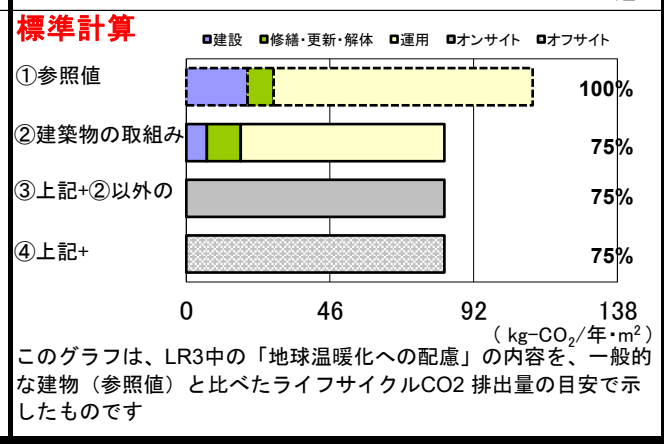
S: ★★★★★ A: ★★★★ B+: ★★★ B-: ★★ C: ★



2-2 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

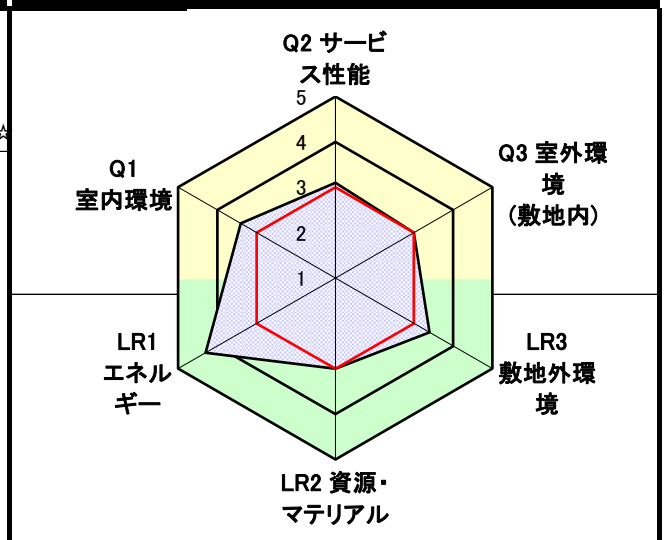
30%: ☆☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆ 100%超: ☆

標準計算



このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価（レーダーチャート）



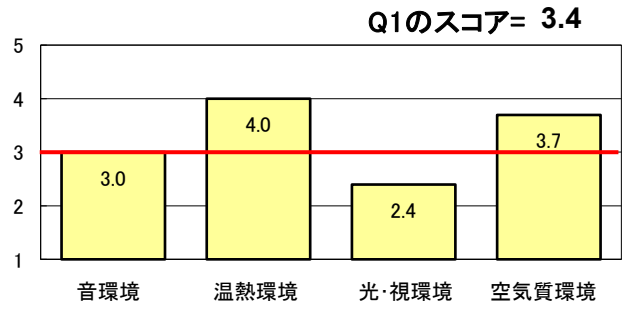
ラベル表示　有

2-4 中項目の評価（バーチャート）

Q 環境品質　　Q のスコア= 3.2

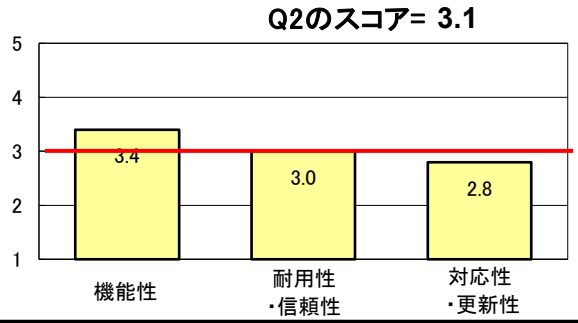
Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.4



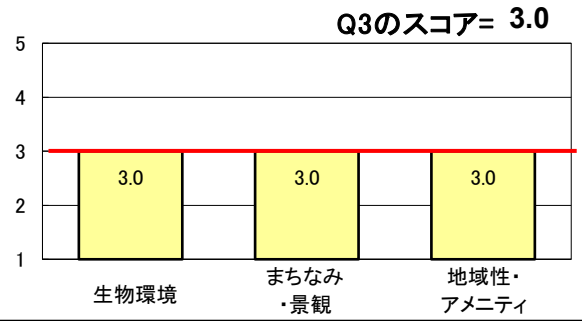
Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.1



Q3 室外環境（敷地内）

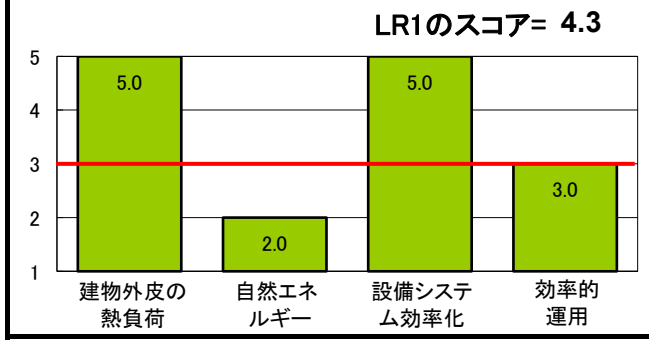
Q3のスコア= 3.0



LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 3.6

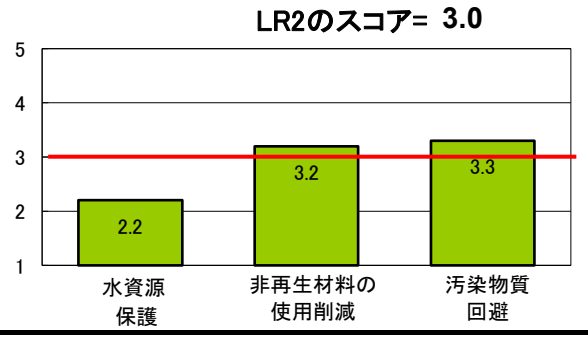
LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.3



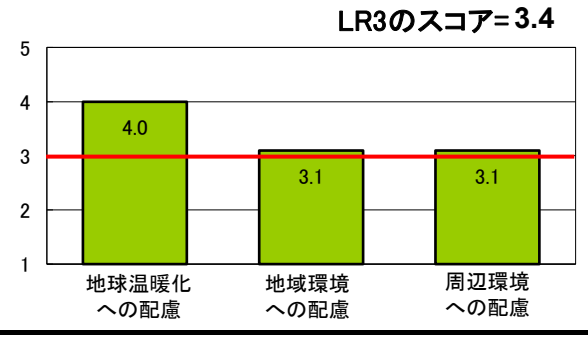
LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.0



LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.4



3 設計上の配慮事項

総合

ZEH-M Oriented基準の外皮性能をもたせることで省エネルギー性の高い快適な室内環境を整えられるよう努めた。
また、良好な都市環境を形成し、賑わいのある街並みを維持するよう努める計画とした。

その他

特になし

Q1 室内環境

断熱性能を省エネルギー対策等級4を超えるZEH-M強化外皮基準を満たす計画とし、省エネルギーで快適な室内環境を整えれるよう努めた。また、内装にホルムアルデヒドの発散を抑制したF☆☆☆☆を採用し、空気質環境を向上させている。

Q2 サービス性能

更新必要間隔が長い配管材料を使用し、耐用性を高めている。

Q3 室外環境（敷地内）

　敷地内の日照・植栽条件に応じた中高木および緑地を設け、良好な緑地環境に配慮している。

LR1 エネルギー

適切な断熱材を施し外皮の熱負荷抑制に努め、またＬＥＤ照明や人感センサー、換気DCモーターの採用など設備システムの効率化にも努め、省エネルギーに配慮した建物としている。

LR2 資源・マテリアル

オゾン破壊係数や地球温暖化係数の小さい発泡剤を使用する断熱材を採用し、汚染物質の使用回避に努めた。

LR3 敷地外環境

省エネルギー化によりライフサイクルCO2排出量を参照値より抑制し、地球温暖化への配慮をしている。

建築物環境性能表示　結果〔重点評価〕

総合評価BEE　=　1.6

ラベル表示



環境性能		評価点	
(1)CO2削減		4.0	
CO2削減に配慮した環境性能			概要記入欄
LR3/ 1 /　/	地球温暖化への配慮	4.0	
配慮事項	ライフサイクルCO2排出率低減に努めた。		

環境性能		評価点	
(2)みどり・ヒートアイランド対策		3.0	
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能			概要記入欄
Q3 / 1 /　/	生物環境の保全と創出	3.0	
Q3 / 3 /3.2/	敷地内温熱環境の向上	3.0	
LR3/ 2 /2.2/	温熱環境悪化の改善	3.0	
配慮事項	緑地を確保することにより、地表面温度や地表面近傍の気温等の上昇を抑制することに配慮した。		

環境性能		評価点	
(3)建物の断熱性		5.0	
CO2削減に配慮した環境性能			概要記入欄
LR1/ 1 /　/	建物の熱負荷抑制	5.0	
配慮事項	日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級4を超える水準とし、建物の温度差による熱損失・熱取得の低減に努めた。		

環境性能		評価点	
(4)エネルギー削減		5.0	
CO2削減に配慮した環境性能			概要記入欄
LR1/ 3 /　/	設備システムの高効率化	5.0	
配慮事項	LED照明など高効率な設備を採用し省エネルギーに配慮している。		

省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	適合

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4（相当）以上、非住宅部分が1.0以下であること
※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること（新築時）
（基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること）

	住宅部分（品確法等級）	非住宅部分[BPI][BPIm]
外皮性能	等級4を超える（相当）	-

	建物全体[BEI][BEIm]	住宅部分[BEI]	非住宅部分[BEI][BEIm]
一次エネルギー消費量	0.75	0.75	-